

事業者向け 児童発達支援自己評価表

回答数: 10

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10			
	2 職員配置数は適切であるか	8	2		・療育時は、もう少し人数がいると活動の幅を広げられると思う ・人手が足りなくなる前に職員同士の動きを話し合い、人員配置や活動内容を変更している ・基準以上に配置している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10			・こまめな換気、掃除ができています ・ドアの隙間を開け、常に換気している ・食事後の床清掃、消毒の実施
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10			・日々の目標と反省の他、前期後期において振り返りを行って改善を図っている
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			・事業所の評価を依頼している ・行事ごとにアンケートを実施している
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2		・公開しているが、少し分かりづらいかもしれない
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		0	10	・実施していない
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			・勉強会の開催やオンライン研修への参加をしている ・ケースカンファレンス等を行っている ・それぞれが外部研修で得た知識を報告している
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10			
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	10			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10			・活動内容をよく話し合い、案を出し合っている
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10				

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1		・朝礼、終礼で全スタッフで情報共有をしている ・バス添乗等で朝礼、終礼に出られない事もあるため、前日に書面等でメモを残し、しっかり報告するようにしている
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	2		・基本的に当日振り返りを行うが、勤務体制上その日の振り返りができない場合もある。その場合は、他の職員の記録を見たり、翌日に振り返りを行うことがある。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0		
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	7	3		・機会があれば、行く体制は整っているが機会がない
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	1	2	・現在はこちらで医療的ケアを行うことは無いが、必要に応じて病院への見学など行っていきたい
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	2	1	・医療的ケア児の病院でのケアや様子を保護者から確認したり、研修に参加する等し、対応の仕方を学んでいる
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1		・引継ぎ書類の作成をしている
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10			・引継ぎ書類の作成、情報交換をしている
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	3		
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	6	・今後は機会を作っていきたい ・公開イベント等で交流する機会も設けている
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	10			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1		・細かな悩みにも寄り添うよう心掛け、そのご家族に合った手立てを考えたり、アドバイスを伝えるようにしている ・連絡帳で伝えきれないことは電話またはバス添乗の際に保護者に伝えるようにしている
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	2		・講習会などを通して伝えている	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			・連絡帳から保護者の細かな変化に気づくよう心掛け、アドバイスするようにしている
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	3		・全員には言えないが、支援する場は増えつつある ・ふらっとカフェ(保護者交流の場)の開催 ・草刈りをお願いしたり、懇親会を開催している
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			・施設長に伝え、より速く改善案を見つけ、保護者にその旨を伝えるようにしている
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	10			・SNSへの投稿の際には必ずダブルチェックを行っている
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10			
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10			
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			・毎月の避難訓練の他、土砂災害を想定した訓練を実施している。 ・消防署の協力を得て救命救急講習を年に一度行っている
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10			
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10			・子どもに対し危険な状況である場合(バスの中、食物アレルギーを持つ子が他児の給食を食べないように遮る等)の適切な対応について職員間で話し合っている